

功労賞 ㈱川上板金工業所



# 第21回芦原科学大賞に ㈱サムソンが輝く

㈱サムソン 開発プロジェクトチーム



奨励賞 ハイスキー食品工業㈱



## 第21回 芦原科学賞贈呈式



(公財) かがわ産業支援財団 (高松市 中山 貢理事長) は、このたび第21回芦原科学賞の受賞者を決定。2月28日に高松国際ホテルで贈呈式を開催した。

同財団では、高松市出身の故芦原義重氏 (関西電力株名誉会長、香川県名誉県民) からの寄附金を基金に、県内の産業技術の高度化と産業振興に寄与することを目的に、平成5年度より研究支援事業を実施している。

21回芦原科学賞の大賞に選ばれたのは、**㈱サムソン (観音寺市 吉岡龍示社長)** の開発プロジェクトチーム。

研究テーマは「省エネ大容量小型貫流ボイラーの開発」。

小型ボイラーの範疇で、換算蒸発量三千 kg/h までの高出力を図り、小型貫流ボイラーの大容量化と、飛躍的な省エネルギー性能の向上を達成した。

新技術により開発した製品「SE-3000EPG」は平成22年4月に販売開始。発売翌年に日本ガス協会の技術賞、24年度には発明協会の特別賞を受賞している。

功労賞は、**㈱川上板金工業所 (琴平町 川上正城社長)** が受賞した。テーマは「台風・地震災害に強い屋根材の開発」。

台風による被害ゼロを目標に、同等屋根材との比較で20%強の強度を持ち、断熱性・防水性・採光性に優れる屋根材を開発した。平成22年より「クローザールーフ」シリーズとして市場に投入。今年1月までに累計30億円 (工事費含む) の売上を達成している。

「こんにゃくを原料とした新食品素材の開発」を行っている、**ハイスキー食品工業㈱ (三木町 菱谷龍二社長)** が奨励賞に選ばれた。こんにゃくの保有する高い機能性を生かした、より美味しく簡単便利な加工技術を開発。独自の脱アルカリ技術を用い、こんにゃくの無限の可能性に挑戦する同社。擬似食品として大ヒットしたマンナンレバー、希少糖との複合化により血糖値抑制効果が認められたマンナンスムージーなどを生み出している。

贈呈式には受賞3社関係者のほか、浜田恵造県知事、選考委員長の長尾省吾香川大学学長、技術開発等審査委員会委員長代理の多田哲生徳島文理大学理工学部長らが出席。受賞者に賞状、楯が授与され、賞金目録が贈呈された。